

形北
3年

形北小3年学区町探検



出発式の様子



咲き始めのあじさいの里



6月2日(月)と6月5日(木)に、形北小3年生が学区の町探検に出かけました。

あじさいの里の入り口では、形原中2年生の生徒が授業で作曲した「あじさいの里をイメージしたメロディー」(形メロ)が流れていました。そして、咲き始めの紫陽花を見ることができました。

その他、一色町の三河地震の地割れや北浜海岸、天満神社などを見学しました。

畑が広がっている場所を見たり、狭く曲がった道を歩いたり、白地図に記号を記したり、気づいたことをメモしたりしました。

子どもたちは、2日間で沢山の距離を歩きました。「あじさいの花、綺麗だね」「疲れたけど頑張る」「探検楽しい！」など沢山の声が聞かれました。

この活動を通して、子どもたちは、山があり海もある、自然豊かな形原の町の魅力を十分に感じる事ができたと思いました。

保護者ボランティアのみなさま、2日間、子どもたちの安全のために、交通安全の旗を持ちながら町探検の活動のサポートをしてくださり、ありがとうございました。



三河地震の地割れ

あじさいの里で



昨年度、形原中1年生(現2年生)は、音楽の授業で、海や祭、あじさいや赤い電車など、形原をイメージした曲を作曲しました。それらの曲はナビテラスや公民館など、さまざまな場所で流してもらっています。あじさいの里でも流れていますので、是非聴きにきてください。

形小
6年

防災倉庫って？

5月30日(金)に、形原小6年生が1区総代天野さんをゲストティーチャーにお迎えして、運動場にある防災倉庫の中には何が入っているのか、災害時にどう利用するのかなどのお話をさせていただきました。

子どもたちからの質問に、天野さんは丁寧に答えていただきました。防災について考える良い機会となりました。



形小
5年

裁縫ボランティア

6月4日(水)、6日(金)の2日間、形原小5年生の家庭科の授業に、多くの地域の方がボランティアとして、裁縫の技術サポートをしていただきました。

玉結びやボタン付け、名前のぬいとり等、アドバイスをもらいながら楽しく裁縫をする事が出来ました。ボランティアのみなさま、ありがとうございました。



形中

蒲郡くらふとフェア用 ロープ御守作り始まる



ロープ水引御守

形原中は、10月25日(土)、26日(日)に開催される「蒲郡くらふとフェア」に今年も出店します(3年目)。形原のロープの良さをアピールすることを目的に、授業でつくった「ロープリース」を展示したり、「ロープで作った水引の御守」を販売したりしています。

ロープの御守は、昼の放課を利用して、多くの形原中生のボランティアが協働本部で作っています。今年も制作が始り、作ったことのない1年生に、3年生の先輩が教えてくれています。積極的にボランティアに参加してくれる姿が大変嬉しいです。



3年生が1年生に教えています



沢山の形中生のボランティア

【文責 形原地区 地域学校コーディネーター 櫻間寿人】